

和光市民文化センター指定管理者選定委員会
選定結果報告書

令和5年8月4日

1 経緯

平成15年9月の地方自治法の一部改正により、「公の施設」の管理運営について指定管理者制度が導入され、和光市民文化センターにおいては、平成18年度から指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者の指定期間が令和6年3月31日に終了となるに伴い、和光市民文化センター指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、和光市民文化センターの管理に関する指定管理者の候補者（以下「候補者」という。）の選定に当たり、指定管理者の指定を希望する団体（以下「申請団体」という。）から提出された提案書類を審査、申請団体に対するプロポーザル審査により、厳正な選定を行いました。

この度、審査が終了し、指定管理者とする候補者を選定しましたので、ここに選定結果を報告します。

2 選定委員会構成委員

氏名	選任の区分	備考
◎田中 康一	第1号委員 総務部長	
大野 久芳	第2号委員 企画部長	
寄口 昌宏	第3号委員 教育部長	
赤木 舞	第4号委員 文化行政に関し知識を有する者	武蔵野音楽大学 准教授
稲村 太郎	第4号委員 文化行政に関し知識を有する者	公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター
◎委員長		

3 選定の経過

事項	日程
第1回和光市民文化センター指定管理者選定委員会	令和5年4月7日（金）
公募要項の配布	令和5年4月17日（月）～5月15日（月）
募集説明会の開催・施設見学会 （参加5者10名（うち1者2名は説明会のみ参加））	令和5年5月15日（月）
質問の受付 （質問書2者11件）	令和5年5月15日（月）～5月18日（木）
質問の回答	令和5年6月2日（金）

申請書の受付 (応募 1 者)	令和 5 年 6 月 9 日 (金) ～ 6 月 1 3 日 (火)
書類審査	申請団体が 5 者未満のため、行っていない。
プロポーザル審査及び第 2 回和光市民文化センター指定管理者選定委員会 (審査 1 者)	令和 5 年 7 月 2 1 日 (金)
選定	令和 5 年 7 月 2 1 日 (金)

4 申請団体

- (1) 団体名 公益財団法人和光市文化振興公社
所在地 埼玉県和光市広沢 1 番 5 号
代表者名 理事長 原田 政雄

5 選定審査方法

選定委員会は、公募要項に定める応募の資格等を審査し、申請団体からの提出書類について適正に記載されていることを確認しました。その上で、和光市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 4 条及び公募要項に定めた選定の基準に従い、申請団体からの提出書類の内容を審査するとともに、申請団体に対してプロポーザル審査を実施し、候補者の選定を行いました。なお、申請団体が 5 者未満であったため、書類審査は行いませんでした。

6 選定の基準

今回の選定においては、評価を「①提案内容に対する評価」と「②提案価格に対する評価」の 2 つに分けて行いました。また、提案内容をより重視するために配点の割合を設け、「提案内容に対する評価」を 80%、「提案価格に対する評価」を 20%としました。

「①提案内容に対する評価」では、5 人の選定委員が評価を行い、合計 100 点を満点として採点し、委員全員の平均得点により評価点を算出しました。その中で、大項目ごとの平均点も算出し、交渉権者として必要な最低基準点数を下回る項目がある団体は、指定管理者としての適格性を欠くものとして、選定対象外としました。選定対象事業者について、評価点平均の合計点に 80%を乗じて得た点数を「評価点①」としました。

「②提案価格に対する評価」では、提案者から提示された提案価格に対し、選定委員会で定めた計算式を基に算出した評価点に 20%を乗じて得た点数を「評価点②」とし、「評価点①」と合算した点数を総合評価点としました。

【評価項目及び配点】

(1) 提案内容に対する評価（委員全員の平均点×80％＝評価点①）

選定基準	選定のポイント	配点
1 指定管理者としての適性		
(1)施設の管理運営に対する理念、基本方針	・市の基本的な政策や計画、施設の設置目的や性格等を十分に理解し、それらに適合した管理運営に対する理念や基本方針を持っているか。 ・より発展的に施設の管理運営を行うための明確なビジョンや熱意、意欲を持っているか。	満点 5点
(2)安定的な人的基盤や財政基盤	・長期間安定的な管理運営を行える人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。 ・組織の規模は十分であるか。	満点 5点
(3)実績や経験など	・同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 ・施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しているか。 ・複数の団体が共同して1つの申請団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。	満点 5点
基準点 9 点		満点 15 点
2 管理運営計画の有効性		
(1)施設の設置目的の達成に向けた取組	・施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。 ・政策支援を図るための効果的な提案があるか。 ・計画されている事業の内容が実現可能なものであるか。 ・利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。 ・施設の設置目的に応じた営業・広報に関する効果的な提案があるか。	満点 10点
(2)利用者の満足向上	・利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。 ・利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。 ・利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。 ・利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられている	満点 10点

	か。 ・その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。	
基準点 12点 満点 20点		
3 管理運営計画の効率性		
(1)指定管理業務に係る費用	・指定管理業務に係る費用の算出根拠が明確かつ妥当なものであるか。 ・経費を低減させるための実施可能な提案があるか。 ・利用料金の設定が適切であるか。 ・施設の管理運営に係る収支計画の内容が合理的かつ妥当なものか。 ・施設管理に係る費用と事業実施に係る費用の割合が妥当か。 ・清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。	満点 10点
(2)収入増加に向けた創意工夫	・収入を増加させるための実行可能な提案があるか。 ・助成金や協賛金、広報料収入等の外部資金活用の取組が考えられているか。	満点 10点
基準点 12点 満点 20点		
4 管理運営の適正性		
(1)管理運営体制など	・施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。 ・施設の管理運営にあたる人員の配置が合理的であり、安定した管理運営が可能か。 ・施設の管理運営にあたる人員が、必要な資格、経験等を有しているか。 ・職員の資質・能力向上を図るために、職員参加の話し合いや職員参加の意見を反映した職員研修等が計画的に考えられているか。 ・PDCAサイクルに基づき、事業をより効果的に実施できる体制となっているか。 ・地域の住民や関係団体との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。	満点 10点

(2)平等利用、安全対策、危機管理体制など	・個人情報保護するための対策が十分に考えられているか。 ・利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。 ・日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。 ・防犯、防災対策や非常災害時などの危機管理体制などが十分考えられているか。(非常災害時における市への応援協力を含む) ・施設の機能を維持するのに十分な計画となっているか。	満点 5点
基準点 9 点 満点 15 点		
5 地域・施設の特性に関する事項		
(1)文化事業に関する事項	・「和光市文化振興基本方針」に即した提案がなされているか。 ・独自性や独創性を備えた、優れた音楽や演劇等の振興事業の提案がなされているか。 ・文化芸術の奨励・普及に繋がる事業の提案がなされているか。 ・地域の文化人材の発掘と育成、積極的な活用や起用に繋がる提案がなされているか。 ・和光市の地域文化資源の活用に関する提案がなされているか。 ・文化芸術への市民の関心を促し、新たなニーズを創出する提案がなされているか。 ・文化を通じて地域社会の活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進し、市民の文化度を向上させるための事業提案がなされているか。 ・市民の創造・鑑賞活動を助成・支援する取組の提案がなされているか。 ・市民の文化享受機会の拡大に関する提案がなされているか。 ・地域の文化振興・交流活動の拠点的作用に関する提案がなされているか。 ・文化情報の収集・提供に関する提案がなされているか。	満点 30点
基準点 18 点 満点 30 点		
基準点 60 点 合計 100 点		

(2) 提案価格に対する評価 (100点×係数×20%=評価点②)

※提案上限価格：251,750,000円

提案上限価格に対する提案価格の比率	係数
80%以下	1.0
80%超～90%以下	0.9
90%超～100%以下	0.8
100%超	評価対象外

(3) 総合評価 評価点①+評価点②

7 選定結果

選定委員会において審査を行った結果、次の団体を指定管理者の候補者と選定しました。

優先交渉権者

団体名 公益財団法人和光市文化振興公社

所在地 埼玉県和光市広沢1番5号

総合評価点 80.2点

<点数の内訳>

- (1) ①提案内容に対する評価点 委員5名の平均点80.2点(小数第2位を四捨五入、基準点60点) $\times 80\% = 64.2$ 点

- ア 指定管理者としての適性 13.2点(15点満点、基準点9点)
- イ 管理運営計画の有効性 15.2点(20点満点、基準点12点)
- ウ 管理運営計画の効率性 15.2点(20点満点、基準点12点)
- エ 管理運営の適正性 12.2点(15点満点、基準点9点)
- オ 地域・施設の特性に関する事項 24.4点(30点満点、基準点18点)

- (2) ②提案価格に対する評価点 $80\text{点} \times 20\% = 16$ 点

- ア 提案価格 249,233,000円
- イ 予定価格に対する提案価格の比率 99.0%
- ウ イの比率に対する係数 0.8
- エ 評価点(100点 $\times$ ウ) 80点

- (3) 総合評価点 ①64.2点+②16点=80.2点

8 選定理由

- (1) これまで30年間管理運営を行ってきた実績があり、指定管理者として培ったノウハウと実行力がある。また、公共ホールとしての役割を理解している。それらを活かした事業計画を立てられており、指定管理者としてふさわしい団体であるとする。

- (2) 第5期のコンセプトとして「共創、協創～つながりの多様性による場創り～」を掲げ、これまで積み上げてきたホールと地域、大学、企業等とのつながりを活かしてコンセプトを立てられており、今後ますますの広がりや深まりを期待できる。
- (3) ダイバーシティ、ソーシャルインクルージョンを掲げ文化芸術による共生社会への形成にも期待できる。
- (4) 地域貢献型、普及啓発型、鑑賞型と事業を分類し、バランスを取りながら事業を計画している。
- (5) アウトリーチについて期待できる。
- (6) 公立文化施設であることを意識した活動について、地域との連携や地域の文化資源を捉えている。

9 付帯意見

- (1) 既に多彩なラインナップであるが、これまでの事業と併せてみると固定的な印象がある。
- (2) これまでの事業を継続し、つながりの場づくりをすることも重要であるが、これまでは異なる視点を取り入れ、芸術文化の新たな価値を市民に提供するような事業の提案があると良い。
- (3) ソーシャルインクルージョンを掲げるのであれば、それを具現化した提案をしてほしい。例えば、鑑賞支援サービスが挙げられる。誰でも来られるというだけでなく、聴覚障害者への字幕や手話でのサービス等は他の公共ホールでも行われており、文化庁でもこれらの対応への支援を行っているので、具体的な支援を検討してほしい。
- (4) 単年度の事業計画については、5年間の中長期的な目標を達成して1年ずつステップアップするような計画を立てていただきたい。例えば、若手アーティストの育成を掲げているが、どのように実施するのか、より具体的にプロジェクトとしてアーティストへ分かりやすく示す必要がある。(一財) 地域創造に登録しているアーティストをサンアゼリアの登録アーティストとして起用する説明を受けたが、彼らは年に数回しか和光市に来られない。市民の認知度につなげることを目指すならば、ぜひ、和光市出身のアーティストや近隣に住む若手アーティストの育成に、継続的に取り組んでいただきたい。芸術家の活動が和光市で循環するように、収支が経済面だけでなく人材育成面でも中身を伴うような事業展開を期待したい。
- (5) コンセプトが弱い。ダイバーシティ、ソーシャルインクルージョンの捉え方がやや偏っていると考える。公立文化施設では、障害者を対象に考えがちであるが、ソーシャルインクルージョンは障害者はもちろん、性自認や外国籍についても対象となる。性自認や外国籍の方を対象とすることについて、説明はされていたが事業に伴っていないと思った。文化施設に来る人しか対象にしていない。市民のニーズを把握する手

段としてアンケートを挙げていたが、アンケートは来場者に向けたものであり、文化施設に来る人しか対象に考えていない。

- (6) 普段来場しない方へアプローチする方法としてアウトリーチがある。しかし、アウトリーチだけでは手が及ばない。ダイバーシティやインクルージョンを掲げるのであれば、居場所となるような施設となり、文化芸術を心の拠り所にできるような働きかけができると良い。
- (7) 和光市はベッドタウンであり、10代、20代の人が多い。その中でも、上手く馴染めていないという人々の居場所となることを意識すれば、事業が広がると思う。相談窓口が設けられていることはとても良い。しかし、本当に相談したい人は、窓口に行きづらいという課題もある。ソーシャルインクルージョンを掲げているが、これらのことも踏まえて運営をしてほしい。
- (8) まちの文化度を醸成してほしい。アウトリーチや駅前でのコンサートは現在も行っているが、継続して取り組み、新たな地域の芸術家が誕生するなど、目に見えるような成果を出してほしい。
- (9) 市との連携、情報交換を深く行い、市の文化芸術に対する考え方に寄り添った活動をして事業を展開してほしい。
- (10) 事業が多少マンネリ化しているように感じたが、今後の新規事業に期待する。